

第 22 回研究会レポート

(2008 年 10 月 3 日)

労働者の健康を守る -労働保健推進センターの活動を踏まえて- をテーマに織田 進氏 (福岡産業保健推進センター) が活動状況を講演し、とくにメンタルヘルス対策の現状について考察した。

## 生涯にわたる精神生活を知る必要

### 職場メンタルヘルス対策の第一歩は病歴聴取

産業保健推進センターの活動は多岐にわたる。労働者、労務人事担当者への支援活動が主である。それらは広報誌「とびうめ」と「メールマガジン」にて PR している。翼下の地域産業保健センター活動には、地区ごとで温度差があり、今後の問題点だ。法改正で 50 人未満の事業所でも過重労働への健診が義務化されたので、少しは活動が改善されることを期待したい。

今年の目標は、小規模事業所産業保健活動の助成、メンタルヘルス対策支援活動に力を入れることである。今後設置されていくメンタルヘルスセンターは病院以外の施設で、担当する精神科医は 5 年以上の経験を有し、かつ産業医でなくてはならないという大きな問題点がある。

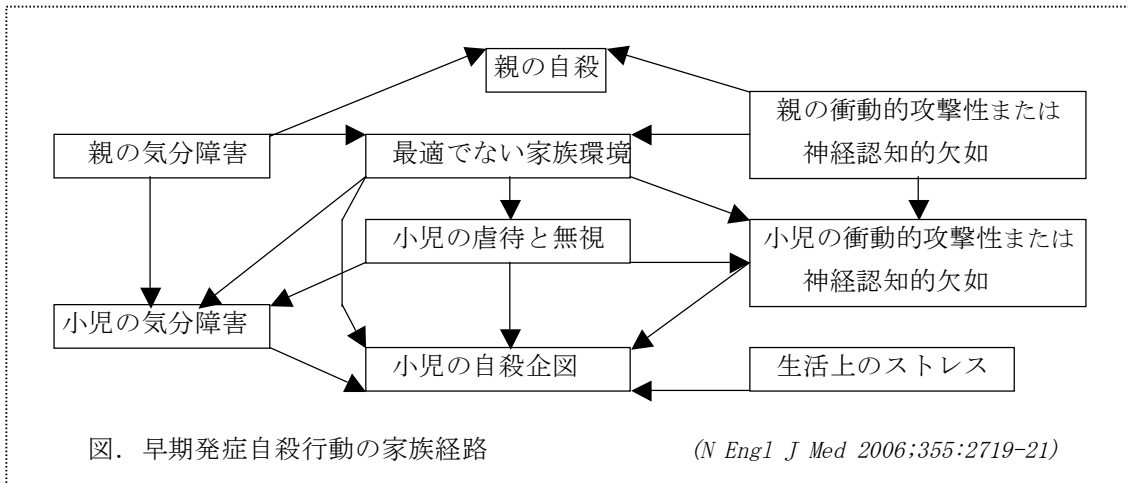
メンタルヘルス対策は情報の提供と研修である。難点は、労働者への周知が難しい、参加人数が少ない、継続的追跡が難しい、予算が単年度で断続的になる、うつ病への相談に抵抗がある、専門医への紹介に必要なネットワーク形成が不十分である、諸点が指摘された。

メンタルヘルス対策の現状について述べる。マズローによる人間の渴望とは何か、たとえば、最初は生理的渴望、つぎに安全、所属・愛情、自尊、そして自己実現への渴望と続く。しかし現状は多数のワーキングプアの突出であり、現在約 550 万人に達している。人の成長は依存から自立へ、そして相互依存という課程を辿る。現状は自立の欠如である。ケータイ依存、母親依存と依存症の時代である。そして考える能力を欠き、コミュニケーションできない。このような若年期を経て成人すれば、成人の精神障害への道を辿ることになる。したがって職場のうつ病は幼少時の精神発達の遅延が一因といえるであろう。近年では小児期のアルペルガー症候群 (自閉症など) が注目されている。

うつ病者の職場復帰では緩やかな復帰が必要。一例として現場への復帰の前に衛生管理室へ復帰させた (高田和美氏)。そこでは早期現場復帰への圧力を防ぎ、また今まで経験した交代勤務の事情、上司との関係、家族関係、などについて衛生管理担当者に教えるという役割を与えた。時には前職場の上司を交えて対話をもった。このようにして 3 年を経過した。もうそろそろ職場復帰してはどうかと問えば、「まだ衛生スタッフに教えることがあります」と。その後定年退職した。 ☞

☞ 職場メンタルヘルス対策のためには、その既往歴を聞き出す必要がある。また既往者は休業中のことを誰も聴いてくれないという不満をもつ。しかし詳細に聞き出して職場管理に使うことには個人情報保護法の存在が気になる。一方、産業医としての安全配慮義務がある。その狭間で悩む（この点については、「個人情報保護法の限度」を整理して次回の会で取りあげる）。

自殺は年間3万人を越える件数が続いている。内、労働者層が約1/3を占める。自殺予防の手段には予防、介入治療、自殺後の身近な人々の癒しが含まれる。 (mt)



## 「非正規雇用研究会」がスタート

### News

本研究会が日本産業衛生学会の翼下にもたれ、本年9月に第1回会合が開かれた。「就業待機者としての失業者の健康管理」（久大/石竹達也）、「ジニ係数の上昇と青年の死亡率の上昇との関係：リスク対策の社会化を充実させる必要性」（東邦大/杉田稔）、「国外における非正規雇用労働の状況」（帝京大/井上まり子）の3題の話題提供があった。今後、年2回のペースで会はもたれる。

### お知らせ

◆第23回研究会（次回）は、**09年3月7日（土曜日）** 14:00-17:00です。

\*予定プログラムは

- [1] 不安定就労をめぐる諸問題 的場恒孝（仕事ストレスコーピング研究所）
- [2] 個人情報保護法を再考する 織田 進（福岡産業保健推進センター）
- [3] その他

\*会場：久留米大学医学部・基礎2号館1Fセミナー室です。

◆09年の開催予定：3月7日、6月6日、10月3日（最終回）

◆本誌“News Letter”を入用の方は、お知らせ下さい。

世話人：的場恒孝（代表）・高田和美・酒井 淳・石竹達也・山岡春夫・児玉英嗣・織田 進

[事務局] (〒830-0011) 福岡県久留米市旭町6-7 久留米大学医学部環境医学教室内

## “失業と健康” 研究会

Fax: 0942(31)4370 Tel: 0942(31)7552 E-mail: kankyo@med.kurume-u.ac.jp